

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年11月27日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：9件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	低圧タービン入口圧力変換器のドレン排水配管がストームドレンファンネルへ接続されており、放射性物質（トリチウム）を含んだ水が排水されていた可能性が認められたため、対応検討	B	
2	1号機	非常用ディーゼル発電機（A）海水制御弁の制御用空気圧力指示計の接続部にエアリーク（カニ泡程度）が認められたため、当該部を点検・修理	D	
3	2号機	取水設備スクリーン洗浄装置用海水ストレーナ（A）の下流側配管にピンホールが認められたため、当該配管を点検・修理	D	
4	3号機	炉心性能計算機が「サーバー冷却用ファン異常」を示す警報の発生と同時に、自動停止したため、当該サーバー冷却用ファンを交換	D	
5	4号機	残留熱除去系配管のベント配管設置に関する溶接事業者検査において、検査成績書の溶接事業者検査結果総括表内に記載した耐圧検査・外観検査区分に誤記を発見したため、誤記を訂正	D	
6	4号機	制御棒駆動水圧制御ユニット（50-27）用スクラム入口弁のグランド部より水のリーク（1～2秒間に1滴程度、汚染無し）が認められたため、当該部を点検・修理	D	
7	4号機	循環水系循環水ポンプ（C）駆動用電動機の冷却水入口流量スイッチに動作不良が認められたため、当該流量スイッチを交換	D	
8	6号機	過渡現象記録装置のシステム異常を示す警報が発生したため、当該装置を点検・修理	D	
9	集中環境施設	雑固体廃棄物焼却設備（A）の固着灰除去装置移動台車に走行不良（後退不良）が認められたため、当該台車及び走行レールを点検・清掃	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで